



## 道内最大級の拠点で高校生が「物流の今」を体験

令和6年10月25日（金）、石狩湾新港地区において札幌地区トラック協会及び北海道と共同主催で高校生を対象に物流施設体験会を開催しました。

この体験会は、第1部では北海商科大学の相浦教授をお招きし講義をしてもらうことで、**物流に関する基礎知識の習熟**を図りました。

第2部の体験会では、物流事業者を招いて物流現場における「生」の声を伺う講話会と、石狩湾新港花畔埠頭ではそびえ立つガントリークレーンや巨大なコンテナを間近で体験しました。各物流施設ではAIにより無人で稼働する「フォークリフト」や、最新のデジタル機器を活用した、**物流の「今」を体感**してもらいました。

生徒には**物流産業の重要性**を「学ぶ」「聞く」「見る」ことで理解し、**物流業界への関心を高めてもらうこと**を目的としました。

次年度以降も継続して取り組んでまいりますので、ご協力の程よろしくお願い致します。

**参加者：**札幌国際情報高等学校 グローバルビジネス科1年生 計120名

### 見学施設



## 石狩湾新港 花畔埠頭

ガントリークレーンやリーファーコンテナ用コンセントなどが整備され、冷凍冷蔵貨物の輸送にも対応。

**“海から陸へ”、“陸から海へ”巨大なガントリークレーンを間近で体験**することで、世界と北海道をつなぐスケールの大きい物流を体感。



イオン北海道株式会社  
イオングローバルSCM株式会社  
エアウォータ物流株式会社

## イオン石狩PC

イオン北海道店舗の札幌市内近郊を中心に54店舗の商品仕分け、配送を実施。

順立て機を使用した商品仕分けを行い、**作業生産性向上と物流コスト削減**を体感。



## (株)エース 石狩第七物流センター

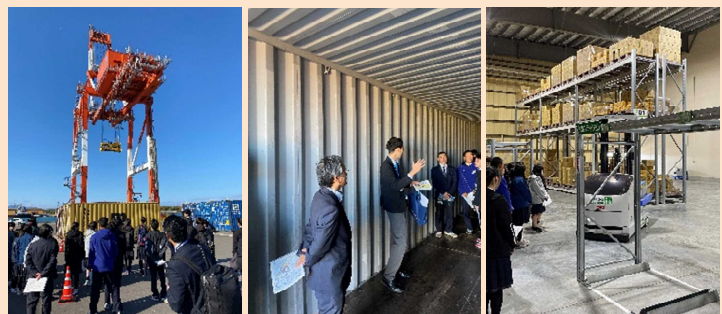
商品の運送や保管業務だけでなく、調達から在庫管理まで包括的な物流業務を展開する総合物流企業。

無人フォークリフトや電動パレットラックなどによる、**「今」そして「未来」の物流自動化**を体感。

### 講師

- 丸吉ロジ(株) 代表取締役 吉谷 隆昭  
「鉄の物流という仕事を通じて社会に貢献する～それぞれが持つ強みの生かし方～」
- 富良野通運(株) 代表取締役 永吉 大介  
「海へ乗りゆく人々～国際物流の現場から～」
- (株)杉本運輸 代表取締役 杉本 憲昭  
「物流のやりがいと未来」
- 北海道総合政策部交通政策局  
交通企画課物流企画担当課長 椋平 剛史  
「身近な物流課題と私たちにできること」
- 石狩湾新港管理組合  
振興部企画振興グループ主任 伊藤 翔汰  
「世界とつながる石狩湾新港が果たす役割」

### 体験会の様子



## 学生アンケート（一部抜粋）

ニュースとか北海学園の先生の事前授業を聞いて頭では理解していたけど、実際に見て、感じて、話す方がやっぱり知識として吸収でき、働いてる人にその場で質問できたのですごく良い経験になった。

最初は堅苦しくてつまらないものだろうと思っていたが、行った場所や聞いた話など全てわかりやすくて面白かった。身近に物流を感じることができて真剣に考えながら話を聞いた。

実際にトラックの座席に座らせてもらったりして、トラックの座席から、前の一部は完全に見れないこと、中は広々していて着替えたり出来ること、イオンからトラックへ物の配達をするときのものの移動の仕方が効率よくなっていることなどを知って楽しかった。

2回講義を聴いて、それまで物流にあまり興味がなかったのに興味がわいてきた。日常生活に結びつく話もあって面白かった。

スーパーにもものが売っていたり、通販がすぐ届いたりということが当たり前だと思っていたが、物流の裏側を実際に見たり、携わっている方たちのお話を聞いて、私たちの生活がたくさんの人に支えられていると感じた。

## 総括

- ・体験会后、106名の方にアンケートのご協力をいただきました。
- ・体験会は概ね好評で、18名の方から「就職先の1つとして興味を持った」といった旨の回答をいただいております。
- ・その他の学生からも「やりがいを感じた。楽しそうだし、人の役に立つと思った。」「将来グローバルベンチャー企業を起業しようと考えているので、物流を活用していこうという思いがある。」といった意見がございました。
- ・北海道運輸局として、このような物流施設の体験会を今後も継続して実施していきたいと考えております。